



小学部 教材紹介



自活支援部

教材①



ねらい

★手元をよく見て、スプーンでフェルトボールをすくい、隣の皿に移すことができる。

使用方法

★1つの皿にフェルトボールを入れ、隣の皿にスプーンを使って移す。

徐々に2つの皿の間隔を広げる。

ポイント

- ・滑り止めマットを使用し、皿が動かないようにする。
- ・手をつなぐなどして、左手を使わないようにさせる。
- ・手元を見るように声をかけたり、スプーンを持つ手に触れたりする。

教材②



ねらい

★手先の感覚に集中して、様々な種類の硬貨を立てることができる。

使用方法

★様々な種類の硬貨を用意し、立てさせる。

ポイント

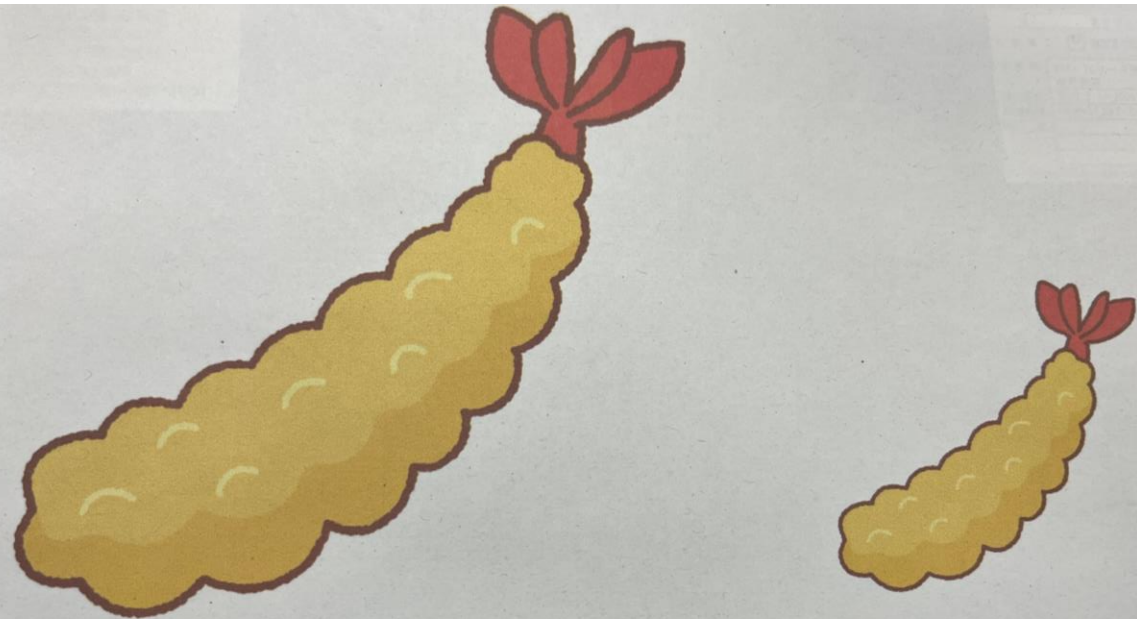
- ・立てやすい1円や10円から始める。
- ・立てることができるようになってきたら100円や50円など難しい硬貨に挑戦させる。
- ・授業の最初にするすることで、以降の課題への集中力を持続させる効果が期待できる。

教材③

• 写真1



ぶどう



えびふらい

ねらい

★「大きい」と「小さい」の違いが分かる。

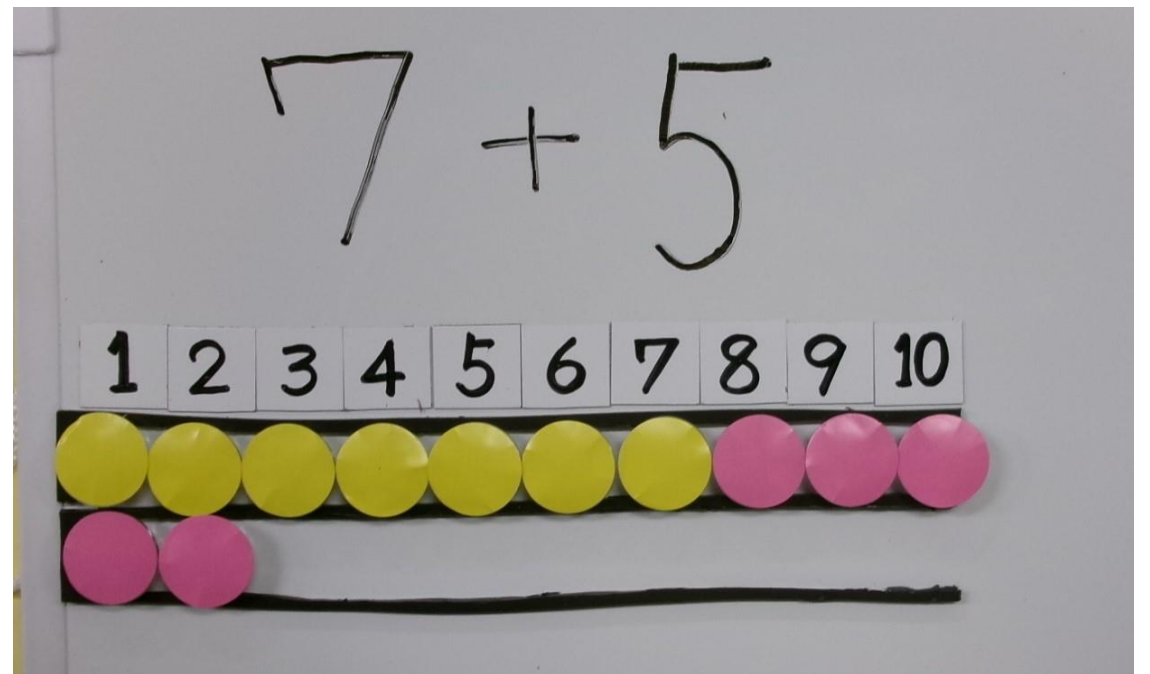
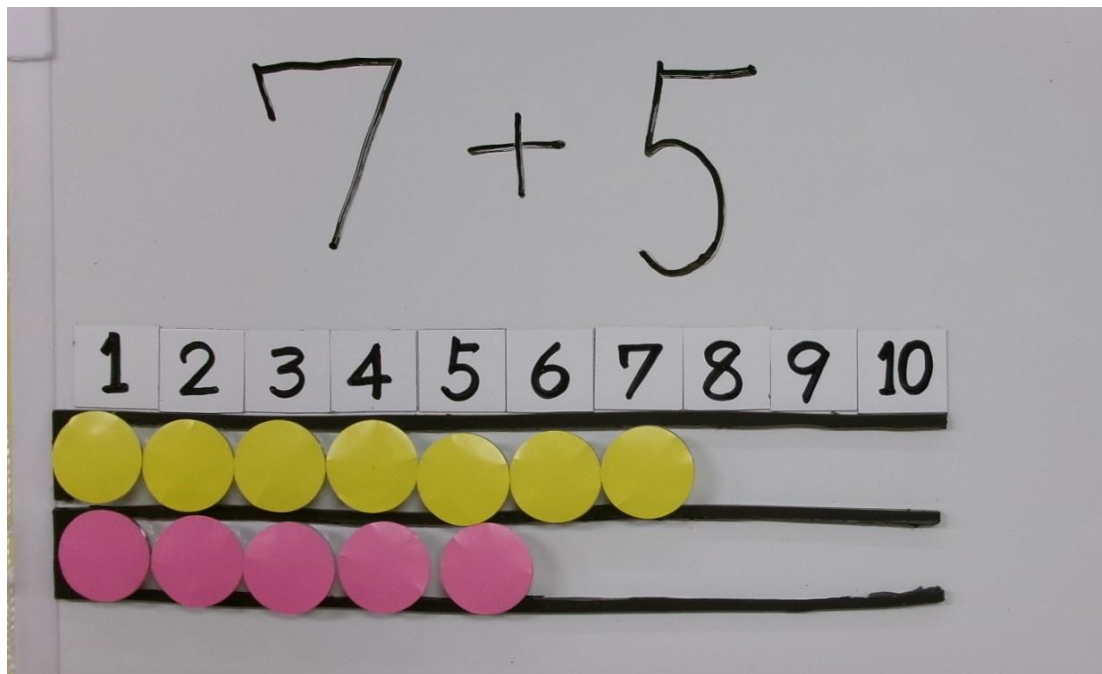
使用方法

★教師が「大きいのはどっち？」や「小さいのはどっち？」と尋ねると、
児童が指差して答える。

ポイント

- ・本児が興味や関心の高い、食べ物などのイラストを用いて学習を進める。
- ・「大きい」と「小さい」の概念を教師と一緒に確認する。
- ・いろいろなイラストを用いて、繰り返し取り組むことで定着を図る。

教材④



ねらい

★20までの数の繰り上がり、繰り下がりの計算の考え方を身につける。

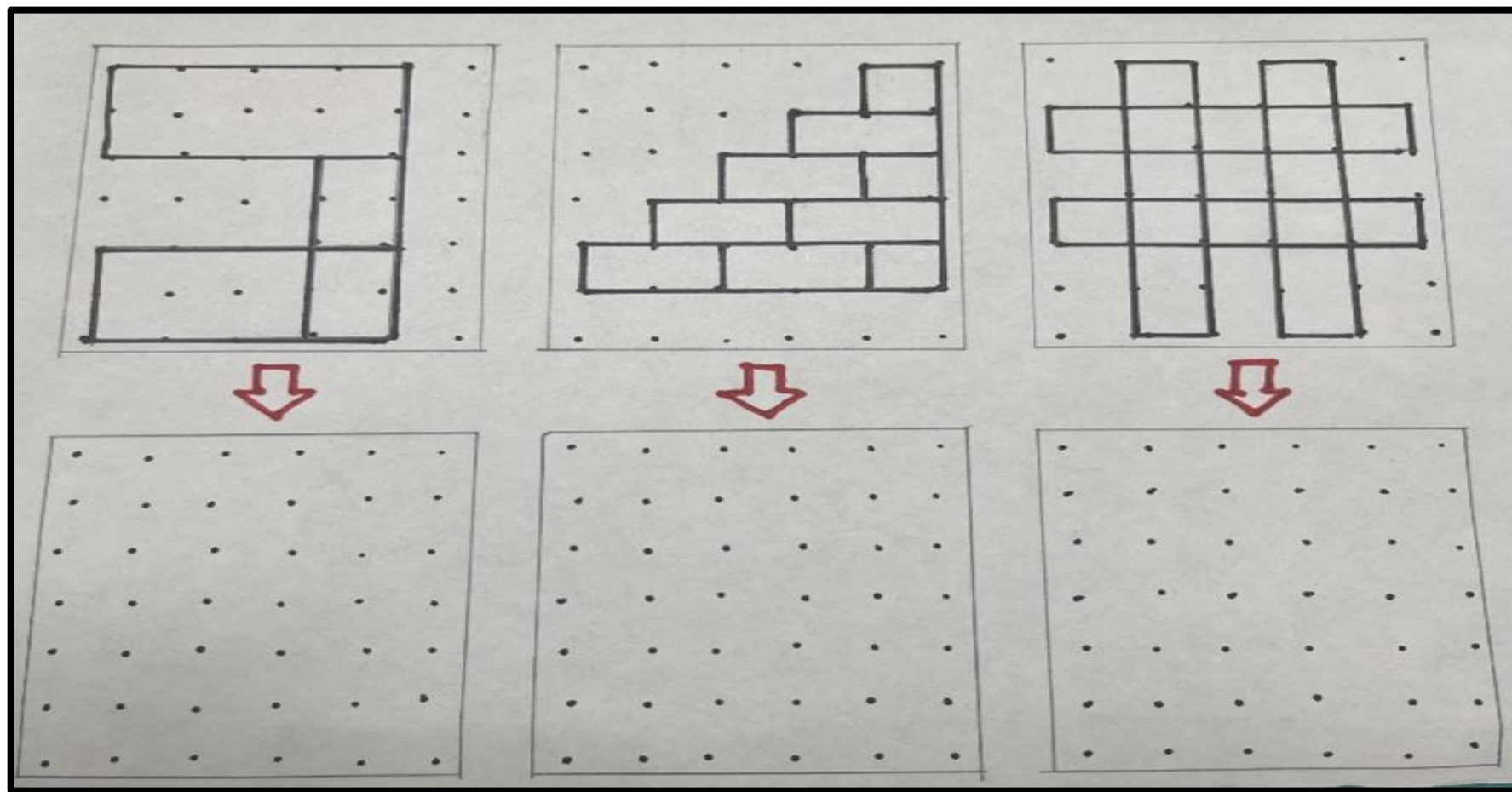
使用方法

★問題の式に合うマグネットを上段・下段にそれぞれ置き、移動させて計算する。

ポイント

・繰り上がりの足し算は10のかたまりをつくること、繰り下がりの引き算は10のかたまりから引くこと(減加法)を意識させる。

教材⑤



ねらい

★空間における位置関係とそれを表す言葉の理解

使用方法

★点をつないで、手本と同じ形を書かせる。

ポイント

- ・じっくり、何度も見比べるように言葉がけして取り組ませる。
- ・線を引き間違えているときは、上下（～何番目）、左右（～何番目）などの位置関係を表す言葉を使って説明し、確実に理解させるようにする。

教材⑥



ねらい

★分類して入れ物に入れる。

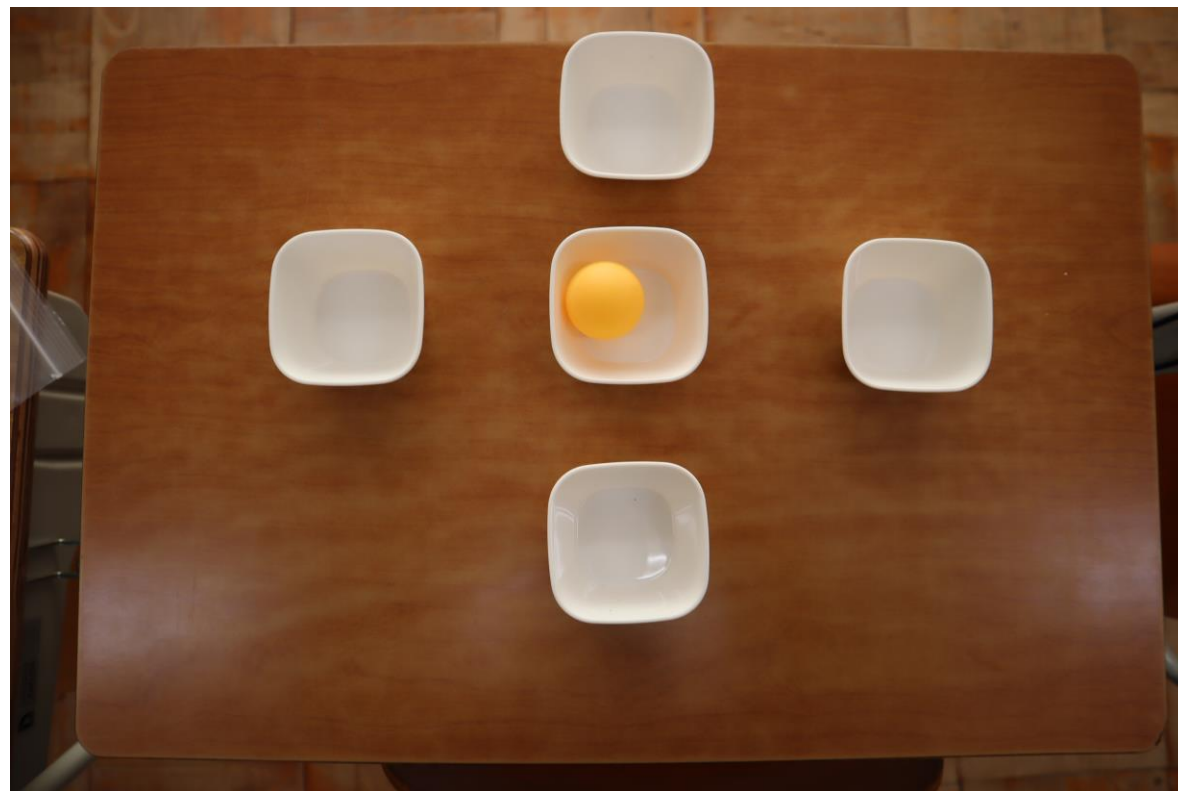
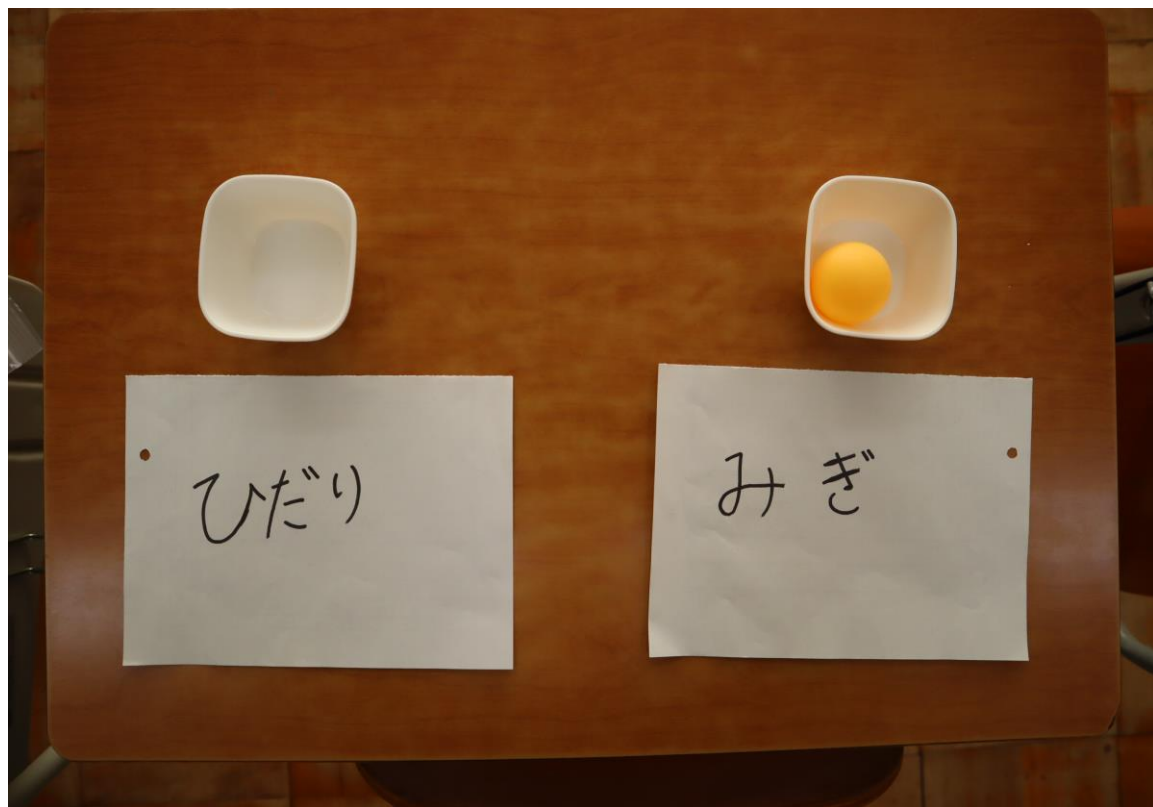
使用方法

★スーパーボールと鉛筆キャップを分類して決められた入れ物に入れる。

ポイント

- ・鉛筆キャップは入れ口が狭いので、縦に入れるようにする。
- ・スーパーボールの入れ口も狭くなっているなので、押し込むようにして入れる。

教材⑦



ねらい

★左右や上下を正しく判断することができる。

使用方法

★ピン球を指示された場所にある入れ物に入れる。

ポイント

- ・「みぎに入れてください」や「ひだりに入れてください」と尋ね、ピン球を正しい場所に入れさせる。
- ・はじめは「みぎ」「ひだり」と書かれた紙を置き、視覚的に判断できるようにする。正しい入れ物に入れることができたなら、紙を除いて取り組ませる。
- ・慣れてきたら入れ物を上下や真ん中にも追加し、ピン球を入れさせる。また、入れ物を横に並べ「みぎから3ばんめに入れてください」なども、取り組んだ。

教材⑧



ねらい

★数字と数のマッチングをすることができる。

使用方法

★おもちゃを数字カードと同じ数を入れ物に入れる。

ポイント

- ・「あひるさんのお引越し」と題して、活動に集中させる。
- ・数字カードを示した後に、数唱をさせながらかごに入れさせる。

教材⑨



ねらい

★絵やものに名前があることに気づき、文字の理解を促す。

使用方法

- ①絵と文字のマッチングを学習する。
- ②絵と一文字ずつのマッチングを学習する。
- ③一文字隠して絵と文字のマッチングを学習する。
- ④二文字とも隠して文字のマッチングを学習する。

★ポイント

・段階を踏み、難しければ戻りながら、複数の言葉で学習する。

教材⑩

$4 + [5] = 10$
 $8 + [2] = 10$

4 は 3 と $[1]$
9 は 5 と $[4]$

$8 + 3 = [10]$
 $5 + 6 = [10]$

ねらい

★数を合成したり数を分解したりして、繰り上がりのある足し算ができる。

使用方法

- ①合わせて10になる穴埋めを学習する。
- ②ドットを数えたり線を引いたりしながら数の分解を学習する。
- ③さくらんぼ算を使って学習する。

★ポイント

・②のところで分解が難しい場合はドットを分けておいたり数字を書いておいたりする。

教材①①



グミ
30円



クッキー
65円



チョコ
70円



キャンディー
53円



ポテトチップス
100円

$$\square + \square + \square = \square$$



$$\square + \square + \square = \square$$



$$\square + \square + \square = \square$$



$$\square + \square + \square = \square$$



ねらい

★実際の買い物場面でいくつかの商品を買い、合計金額を支払うことができる。

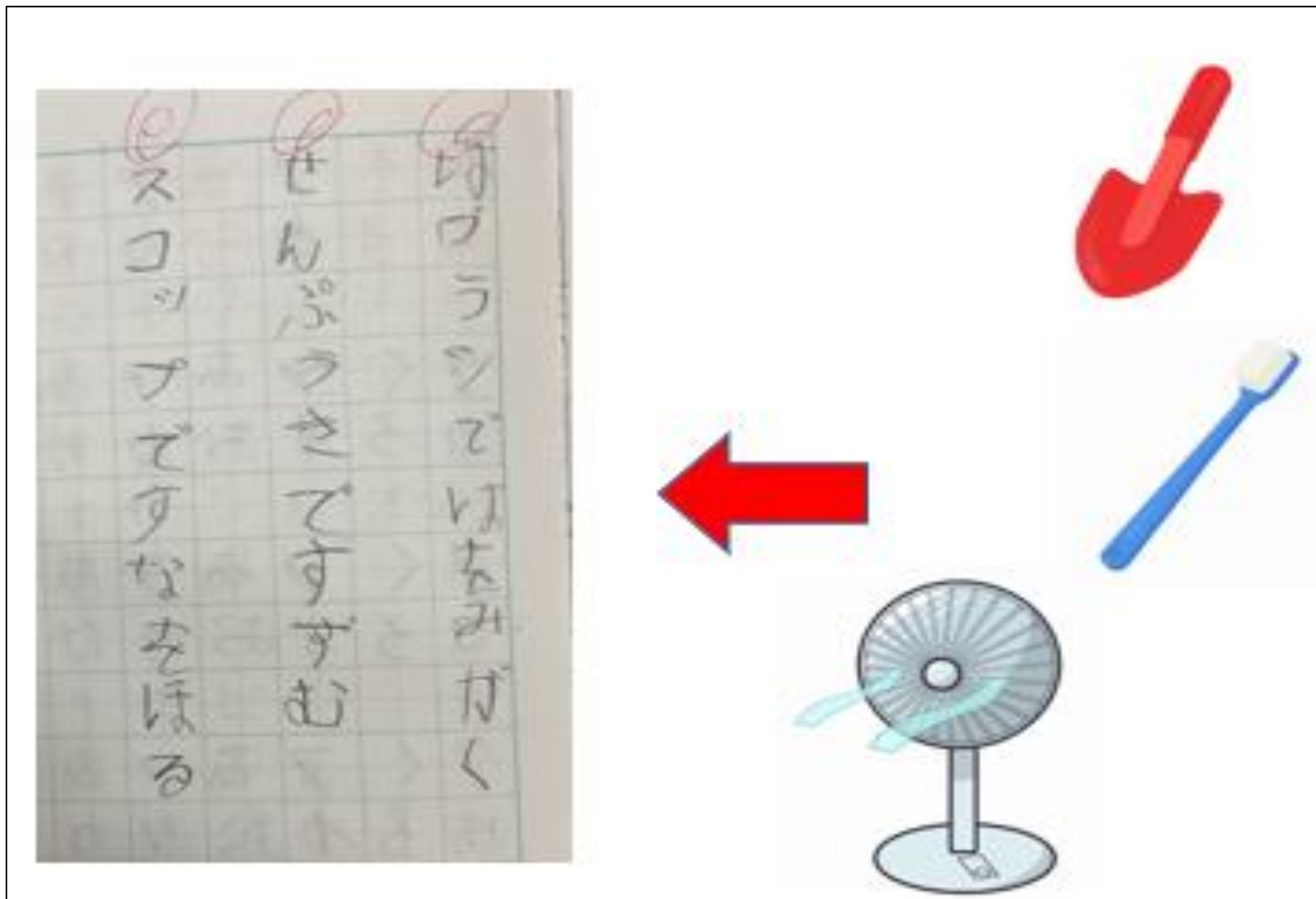
使用方法

★買い物場面を想定したイラストから3つまでの商品を選んで立式し、電卓で足し算をする。金額に合った硬貨を選んで出す。

ポイント

・おつりが出るように大体の金額を出すことはできていたため、ちょうどの額の硬貨を出すことを練習した。5円や50円の使い方は教師と一緒に「50、60、70…」のように声に出して確認した。

教材⑫



ねらい

★自分の言葉で文章を作成し、語彙数を増やす。

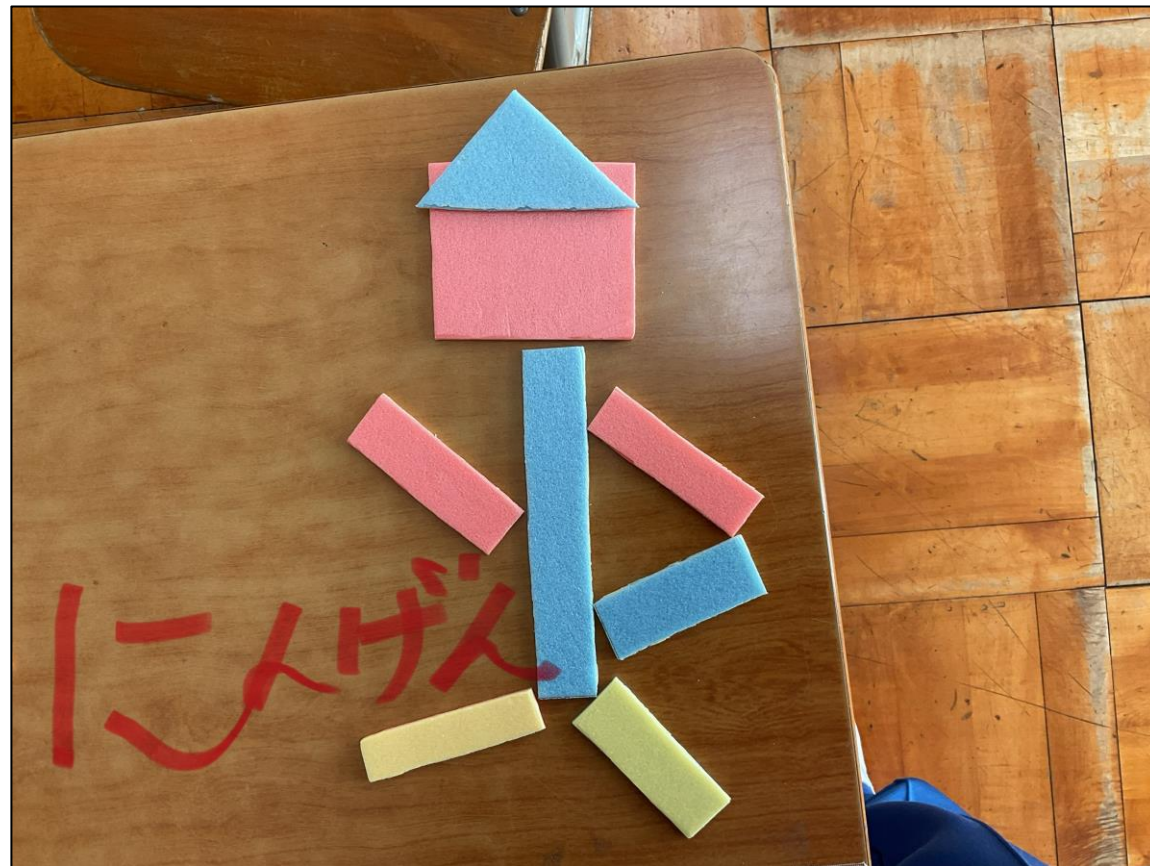
使用方法

★日常生活で使う物のイラストを見て文章を作る。

ポイント

- ・物の名称や使い方がわからない際には一緒に確認する。文章を作成した後に、正しい助詞の使い方ができているか確認する。

教材⑬



ねらい

★図形について知る。

使用方法

★三角形、正方形、長方形についての導入で、事前に教師が用意した形のスチレンボードの板を使って創作したいものを作らせた。

★創作した物をタブレットで写真を取らせ、ペン機能を活用して名前を書かせた。

ポイント

・形について知識を深めた後は、定規を使って図形の書き方を学習した。

教材 ①④



ねらい

★各種感覚の発達および異種感覚の統合を促す。

5. 手の操作 5-1. 手指の分化 5-2. 道具の操作

6. 目と手の協応 6-1. 目と手の協応

15. 弁別分類 15-1. 実物の分類

使用方法

- ・ビー玉とおはじきを同じ1つのお皿に入れておく。
- ・手本で入れる動作を見せてから取り組ませる。
- ・間違っている場合は再度、入れ口を見るよう促し定着を図る。

教材⑮



ねらい

★各種感覚の発達および異種感覚の統合を促す

5. 手の操作 5-2. 道具の操作図形について知る。

使用方法

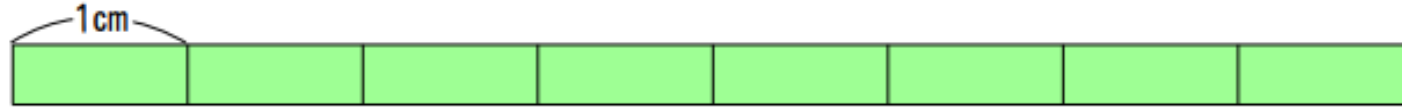
- ・洗濯ばさみをつまむ練習で、指先の筋力強化と感覚を鍛える。
→スプーンなどの食具の握り方を発達させたい。
- ・シールと台紙の色を伝え、同じ色の場所にはさむよう、指さして伝える。

教材①⑥

次の文と図を見て問いに答えなさい。

【ルール】 もんだいのこたえは、ならびかえが、ひつようです。

テープを8つに分けた1つ分の長さは1cmです。



(1) わけた1つ分は、もとの長さの何分の何でしょう。

()

(2) わけた4つ分は、もとの長さの8分の何でしょう。

()

(3) わけた3この長さは、何cmでしょう。

()

こたえの数を下の文字をつかい、くだものの名まえをこたえなさい。
ならびかえが、ひつようです。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

レ ス ン ジ ウ イ チ オ カ ゴ

こたえ

ねらい

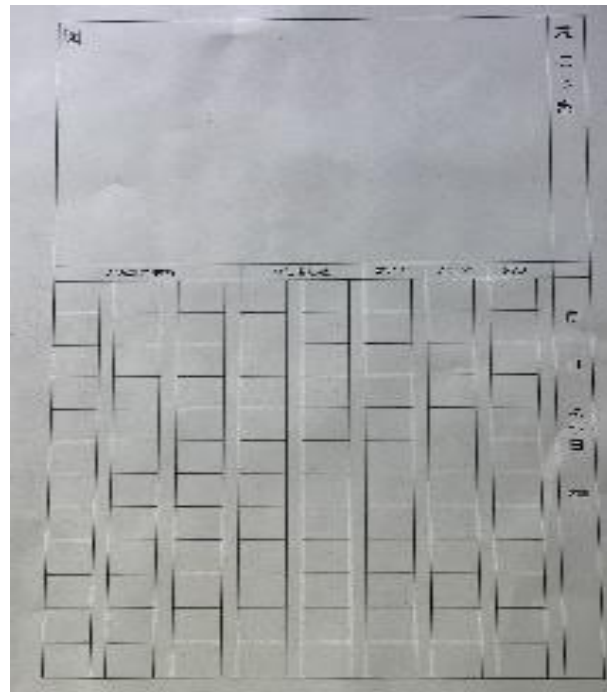
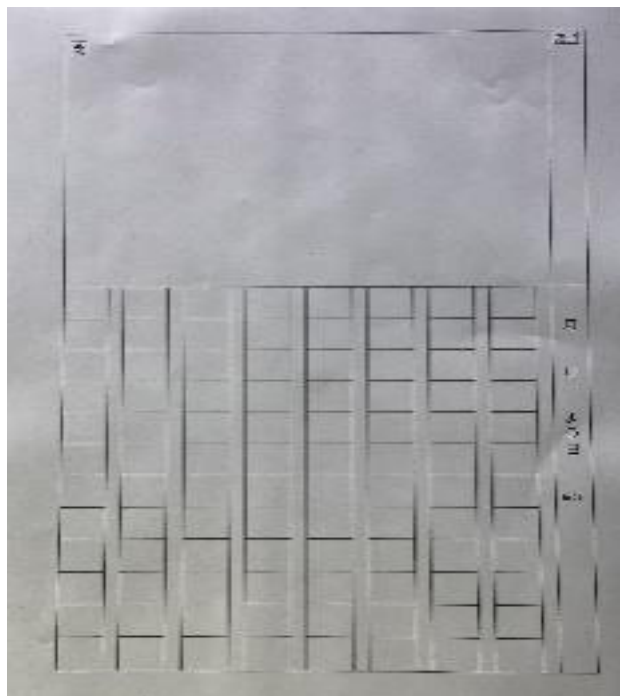
ルールを理解しただものの名まえを考え、きちんとした名まえを考えるという思考を育てることを目的として行う。

分数の基本理解の確認と同時に、文章全体が理解でき思考の柔軟性が増す。

使用方法

- ①文章を読んできちんと内容を理解できるかの確認。
- ②読み解いた語をルールに従って指定された文字を見つける。
- ③答えを導き、マス目に書き出し完成。

教材①7



ねらい

【語いを増やし、伝えたいことを日記や文章で表現することができる】

使用方法

- ◆朝の学習で「いつ・どこで・だれと・何を・その時の気持ち」について問い、教師と一緒に正しい文章で書く練習をする。《下書き》
- ◆下書きをもとに、宿題で日記用紙に書き写し、定型表現に慣れさせる。
- ◆よく使う「昨日、今日、〇月〇日〇曜日」「教科名」「場所名」「友達の名前、高学年」「学習内容」について、繰り返しの多い語いは、積み重ねができるので定着しやすい。気持ちについては「楽しかった・頑張った」だけに偏らないよう、随時カードで選ばせ、語いを増やしていく。

教材⑱



① えんぴつはケース1はここに何本ずつ入っていますか。

答え: 7本

② ケースは何こありますか。

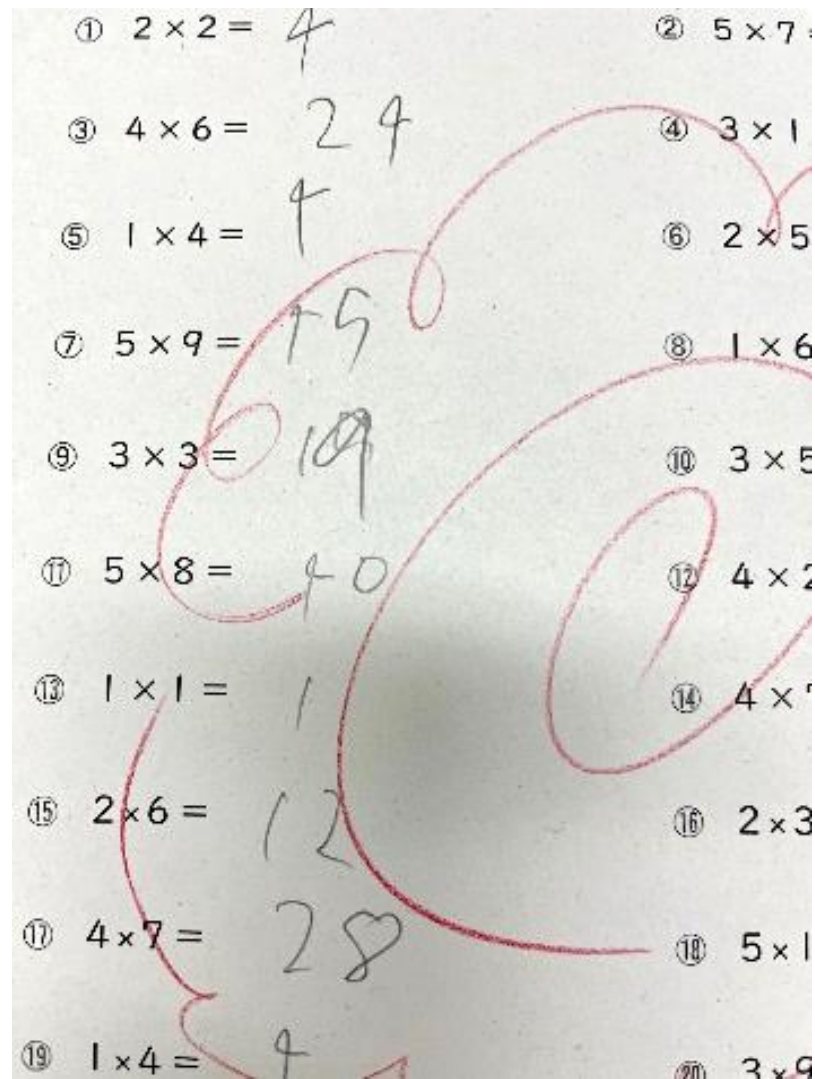
答え: 2こ

③ ぜんぶのえんぴつの数をもとめるかけ算のしきを書きましょう。

しき: $7 \times 2 = 14$

④ えんぴつはぜんぶで何本ありますか。

答え: 14本



ねらい

【4】数量の概念の発達を促す

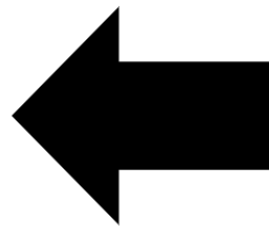
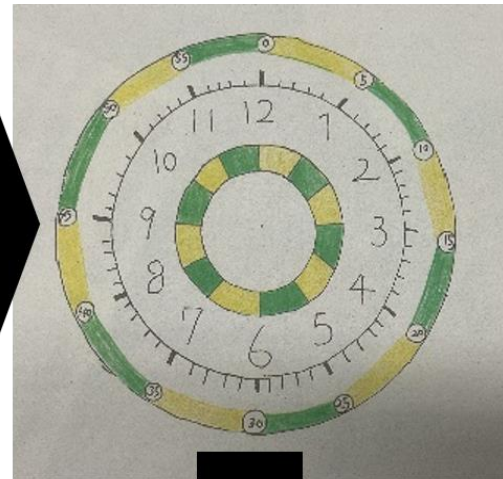
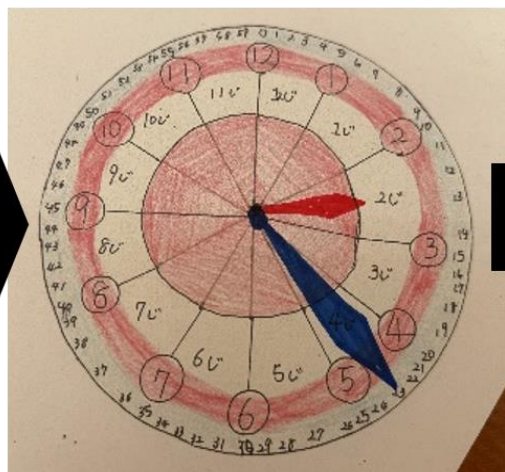
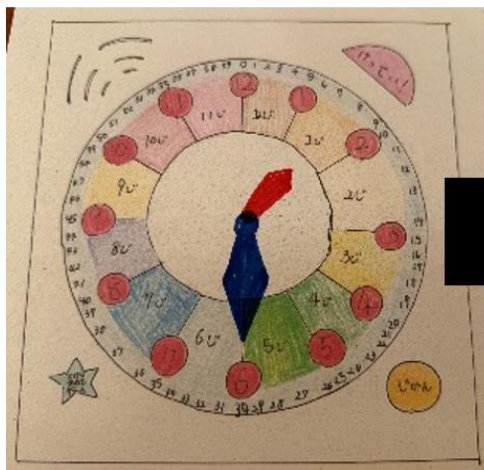
使用方法

30-1 ×個ずつの理解

かける数とかけられる数の関係性について理解する。

九九の計算問題に繰り返し取り組み、かけ算の計算方法の定着を図る。

教材⑱



ねらい

[3]物と物との関係の概念の理解を確実にする


使用方法


18-2.時計の読み方


- 音の鳴る模型時計を使用する。音声ガイドに注目させ、針を操作することに慣れさせる。
- 時計に数字が記入されているプリントに取り組ませる。
- 時計に数字が記入されていないプリントに取り組ませる。
- 休憩時間や空き時間に教室の時計に注目させ、時間を尋ねる。


教材②

○のなかに、えとおなじかずだけしーるをはろう！！


 ○ ○ ○ ○ ○


 ○ ○ ○ ○ ○

 ○ ○ ○ ○ ○



どっちがおおい？





ねらい

[4] 数量の概念の発達を促す

- 23-1.数える
- 24.数量の比較
- 24-1.物の多少の理解
- 25.数の保存

使用方法

- 数えてシールを貼る学習で数の理解を深めた後に、比較の学習に取り組ませる。
- 一つずつ線を結びながら、落ち着いて学習に取り組ませる。

教材②1



ねらい

【3】対象指示活動の基礎をつくる。

13. 指さし

13-2. 要求の指さし

使用方法

- 食事に支援が必要で、自分で食べる順番を決められる機会が少ない。
- 食べ始める前に、カードが示す献立を見せ、選択させながら食事支援を行う。